

平成24年度野菜需給推進懇談会の概要

1 日 時 平成25年2月22日（金） 13：30～15：10

2 場 所 独立行政法人農畜産業振興機構北館6階 大会議室

3 議事概要

- (1) 事務局から、緊急需給調整事業の平成24年度の実施状況及び平成25年度の実施方針を説明し、また、農林水産省から、平成25年度予算等の概要の説明があった。
- (2) 農林水産省から、緊急需給調整が発動された場合、有効利用についてもっと取り組んでほしいと説明があった。これに対し、出荷団体側からは、社会福祉施設等に声をかけるなどしているが、既存の取引を阻害しかねない事例もあったため、そうしたことも配慮すべき点ではないかとの発言があった。
- (3) 出荷団体側から、出荷の停止での緊急需給調整の実施に対するマスコミや消費者団体等の反応はどうだったのかとの発言に対し、事務局から、価格低迷が長期間続いていた状況での発動だったので消費者団体等の理解は得られたが、野菜を有効活用できないかなどの意見もあったと説明した。
- (4) 事務局から、より効果的な消費拡大の取組を目指して、メーカーとの業種横断的な連携や近隣出荷団体との連携等を工夫してもらいたいと発言した。これに関連して、出荷団体側から、緊急需給調整が発動されるような状況の中で、卸売価格と小売価格の動きが乖離している場合もあり、そのような場合、消費宣伝の効果も減殺されてしまうので、農林水産省や機構で実態を調べて情報提供できないかとの発言があった。
- (5) 出荷団体側から、平成24年度補正予算（燃油高騰対策）に関連し、重油の価格が上昇し、リッター当たり90円を超える水準となっており、厳しい状況におかれているとの発言があった。